

11月も中旬の日めくりカレンダーも大分うすくなってきました。
 平成29年が終り平成30年が始まります。
 私ごとですが74才の幕あけが近づいて……
 80, 90, 100才台の諸先輩才にくらべれば
 まだまだ若い。と いわれそうですが私としては
 「ワキ・生れてから73年、たんだ!!」と感慨深い
 気持ちになっています。そして今あらためて
 子どもたちの気持ちが分かることがたくさん出てきました。

→ 行事の多かた、2期もどこの会を減すのみ
 (忘れて 忘れて おもちゃも多量に減ります)
 行事をのりこえる度にたくましく成長してゆくのがある位、子ども
 子どもの吸収力には目を見はげります。パワーをもらいます。
 変、いろいろな手にとりかえに見えらるのも教師冥利につきます。
 こうして月日が流れる年を重ねていって私ごとが……
 こんな事 あんまり考えないようにもなりました。

子ども

出来なかつた事が出来るようになるように
 ex: ジャンパーのチャックが出来るようになるには
 (何度も何度もくりかえし指先を使い回すに
 はまた時の幸ひ)
 親が先生が教える事を どんどん吸収していく。

私

出来ていた事が出来なくなるとあせりと自分へのふがいなさ……
 ・チャックが中々はまらない。
 ・くつのはきみがすぐしぼれてくる。
 ・お皿の洗い物が雑になる。
 などといった事を忘れる。思い出すまで日時間がかかる。etc

子どもも私も出来ない事、出来ない時に「あれこれいわれると……」
 悲しい気持ちがふくらんでくる
 でも 子どもは出来ることにむかっている。私は? 出来ないさびしさがかみあげてくる。
 子どもにむかえて「何故できないのよ なん? いわなくしていい。
 出来ない事には手をかしてあげればいい!! 出来る事にはほめて次へのやる気をつけよう。
 年を重ねると何で出来ないんだ!! 何してやるんだ!! ささとしたら……なん? いわれると傷つく。
 同じひも結びでも子どもは出来るようになる可能性を含めている。私は出来ない可能性大
 だからといって沈んでばかりはならぬ。出来なくなると、大丈夫? どうするか? どうしたら
 いいか? 考える事が出来る。出来ない事と闘い、とばすことだ。出来る。
 子どもたちがひとつひとつ身につけて生活の範囲を広げていく事を見守り応援してこの先あせらず、ゆくりと

